会報 いきがい

第１５９号
（２０２０年）
令和２年１０月１日

公益社団法人
相模原市シルバー人材センター
相模原市中央区富士見4-3-1

相模原市シルバー人材センター　検索

ホームページを８月１日より刷新しました。

会員数（令和２年９月１日現在）
３,０４７名

左から新津常務理事・清水副理事長・本村相模原市長・山中理事長・佐藤事務局長

本村賢太郎相模原市長を表敬訪問しました

７月２８日（火）に山中理事長、清水副理事長、新津常務理事、佐藤事務局長が相模原市役所を訪問し、本村賢太郎市長に面会しました。山中理事長と清水副理事長のあいさつに続き、本村市長からあいさつがありました。

山中理事長から全国シルバー人材センター事業協会定時総会で決議された「人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望書」を本村市長に提出し、あわせてセンターへの事業発注や補助金等の支援をお願いしました。

理事会だより　令和３年度予算の骨子決定

８月３１日（月）第３回理事会が開催され、令和３年度予算編成方針について、総務・事業・組織の各専門部会長から提案されました。総務部会長からは事業目標として、会員数３，１００人、契約額１０億５千万円、就業率８７%等の案が示されました。この目標は中期計画の目標値よりも低く設定されていますが、実態に沿った目標とするとともに、コロナ禍において、経済活動が著しく後退する中、当センターにおいても契約額の大幅な減少となっており、来年度においてもその影響が続くことを想定したものとの説明がされました。また、事業部会長からは就業開拓推進員の配置や講習会の実施計画、シルバーまつりの実施等について提案がされました。続いて組織部会長からは会員に対してのアンケート調査の実施や、女性会員の拡大を図るためメイクアップ講習会の実施、今年度中止となった役員及び地区長合同研修会の実施等が提案され、予算編成方針は承認されました。

また、「ゴールド会員規程」の一部改正について提案されました。ゴールド会員は１０年以上在籍をした会員がその資格を得ることができますが、これを７年以上に改めるものです。入会時の平均年齢が上昇する中、資格を得る期間を短くし、退会抑止につなげるためとの説明がされ、承認されました。

他にセンターで回収するごみ処理費について、市役所において処理手数料が１０月１日から改定されるため、当センターにおいても１０月１日より１袋（束）３６０円から４１０円に改定される提案がされ承認されました。その他の議案についても慎重な審議の上、承認されました。

協議事項では南事務所の改修工事について、リサイクル自転車販売事業が終了したため、従来のリサイクル自転車作業室と襖障子張りの作業室を改修し会議室を新設するとともに、襖障子張り作業室を改装することが協議され、確認されました。

新理事の紹介　その１

緑ブロック
会員代表理事
植松省三さん
（総務部会）

入会してから９年目になり、地区長２期、安全管理対策員を２年経験しました。

「走らない運動会、緑シルバーまつりなどの企画・運営をしてシルバー人材センターの認知度を高め、会員相互の親睦を図ってきました。

今後、更にそれらを推し進めるため、来年度にシルバー人材センター全体のお祭りを企画して会員・一般の人達を巻き込んだものにしたいと考えているところです。会員の皆様にはフリーマーケットや独自事業の展開などに参加して頂きたいと考えております。開催場所は緑⇒中央⇒南を巡回させて開催したいと構想を練っています。」とのことです。

「現在は城山の作業所で野菜の販売を行っております。畑で作った作物を販売して、喜んで購入して頂くことに達成感があって非常な喜びを感じます。

きれいで美味しいものを作っていくためには、土づくりから始めなくてはならず、これを含めて野菜づくりを実践していくことに楽しさを感じていて、趣味と実益を兼ねています。」とのことでした。

また、野菜作りが好きな会員を集めてシルバー人材センターとして空いている畑を借りて野菜を作り、道の駅のような販売店を作り、野菜に限らず、手芸品などセンターの独自事業で作ったものの販売、センターの宣伝・会員募集が出来て誰でも集まれるスペースとする事が出来ないか想像を巡らせているとのことでした。

（山口）

新理事の紹介　その２

緑ブロック
会員代表理事
山本　諫一さん
（事業部会）

シルバー人材センターに入会して１５年目になり、１０年間地区長を経験しました。

みどりカラオケ同好会を平成２８年に、また緑健康マージャン同好会をも立ち上げ、幹事として趣味を生かし、楽しみながらその運営普及にご尽力されています。カラオケ同好会の会員数は４５名で月１回の活動を行い、２年前に行われた渓松園での大会は一般の人を含めた約８０名参加の大会となりました。健康マージャンの会員は５０名で月１回ぐらい自治会館を借りて大会を行って楽しんでいるそうです。

新しい事業について伺うと、空き家管理事業を市と連携してやろうと計画を練っています。津久井などには空き家がたくさんあり、家の管理に困っている人たちの委託を受けて、家の周りの草刈り、除草、植木の剪定、家の外観を定期的に観察して壊れているところは修繕したり、家の中の換気をしたりすることを考えているとのことです。

趣味は畑仕事でいろいろな野菜を作って、販売していると話されていました。

（山口）

南ブロック
会員代表理事
長澤　隆大さん
（組織部会）

長澤理事は、相模台地区長を８年間務め、この度、第９回定時総会において会員代表理事として選任されました。

理事としては、理事会に専門部会が設置されている「組織部会」に所属しています。

「会員の平均年齢は７５.２歳と前年度より０.５歳高くなっています。高年齢的なことがあるのか分かりませんが、仕事内容や仕事上の人間関係などですぐ辞めてしまう傾向があるそうです。６年連続して会員数は減少していますので、希望する仕事が見つかるように、女性向きの仕事、公共的仕事、事務系の仕事、企業内軽作業、室内清掃作業、剪定、除草、見回り隊、空き家対策などリーダーを増やし、幅広く取組み、会員数を少しでも増やしたいと思っています。

また、海老名などの他の地域の取組みを参考にしながら、わくわく感のある楽しい仕事があるシルバー人材センターとなるように組織として改める必要があるのではないかと考えています。」と抱負を語っていただきました。

ご活躍を期待します。ありがとうございました。

（松本）

南ブロック
会員代表理事
跡部　逸郎さん
（事業部会）

跡部理事は、上鶴間本町の地区長を務められ、この度、第９回定時総会において会員代表理事として選任されました。

理事会の「事業部会」に所属し、理事として、「①事業運営に関する事項の検討・意思決定をすること。②会員の仕事を増やすこと。会員自身も自主的に事業を拡大する活動をしていただくこと。③安全管理委員でもありますので、会員の方々が安心して、安全に就業できるような仕組み作りに参画する役割を担うこと」の３点を考えています

「人生１００年時代と言われる中、コロナ禍による新しい生活様式、厳しい事業環境、定年延長による入会者の減少及び高齢化などという現状を踏まえ、会員・役員・事務局が　三位一体になって、相模原市シルバー人材センターを一層発展させていくために尽力したいと思っています。」と抱負を語っていただきました。

ご活躍を期待します。ありがとうございました。

（松本）

いきがいの仲間たち

鹿島興業で工場周辺の草刈りに就業する大谷さん、榎本さん、神保さん、原田さん【緑ブロック】

相模湖プレジャーフォレストに近い相模原市緑区若柳にある鹿島興業株式会社に就業している大谷均さん、榎本英治さん、神保政夫さん、原田長網さんを取材しました。

仕事の内容は会社の周りに生えている草の刈り取り、木の枝打ちと刈ったものの片付けなどです。

就業時間は全体で１４時間以内という条件ですが、暑さが続くこの時期では熱中症の心配があり、体調を見ながら午前８時から正午とか、今日は調子がいいから１時間延ばそうなど調整しているそうです。もちろんこれらは会社の了承を得てのことです。

コロナ対策については朝に集まり互いの顔を見て、その日の体調を見極めてお互いにあまり近づかないように気を付けているとのことです。また、蜂、蛇、ヒルが出ることがあるので服装に気を付けているとのことでした。蜂刺され防止対策として帽子に網を付けたものをかぶることもあります。

グループで作業しているので、いろいろな話をしたり、教えてもらったり、気軽に何でも話せる仲間なので、作業のやり方を注意しあったりしている和やかなグループです。

趣味を聞いてみると神保さんは家庭菜園をやり、ＤＩＹで椅子・机などいろいろなものを作り、季節によって釣りも楽しんでいます。大谷さんも家庭菜園をやられています。榎本さんはイベントでミニＳＬのコースを作って走らせていたそうです。原田さんはカメラの撮影が趣味です。一眼レフのフイルムカメラを多数所有していて山に登って撮影するのが楽しくて、最近では礼文島に写真撮影旅行をしてきたそうです。

（山口）

左から、原田さん、神保さん、榎本さん、大谷さん

マンションの清掃で就業する増田さん【中央ブロック】

残暑の厳しい８月末、上溝にあるマンション「エレクティオン」で清掃の仕事に就業する増田輝男さんを取材しました。

増田さんは、週３回、火・金・土の午前１０時から午後１時までの３時間就業されています。

就業の内容は、エントランスや共用通路・階段床の清掃、集合ポストと階段の手すりや各種パネル、ガラス部分、消防機器等の拭き上げをされています。その他、建物の外周及び敷地内の清掃とゴミ拾いなどをされています。

この仕事に就いたのが８月の初めだったそうで、まだ日が浅いので仕事に慣れるまでが大変だと話されました。

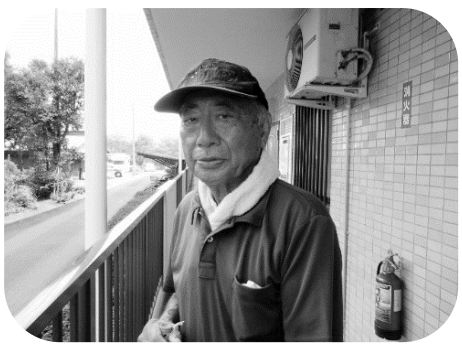
これから秋にかけての枯葉の時期や寒い時期の水仕事が大変だと前任者から聞いているそうです。

仕事のやりがいは、働けば多少でもお小遣いがもらえ、仕事をやることが生きがいになると話されました。

余暇の過ごし方は、毎日ウォーキングを１時間とNHKのラジオ体操第１と第２をされるとのことです。川崎に住んでいられるお孫さんと月１回会うのを楽しみにしておられるそうです。

取材にご協力をいただきありがとうございました。

（小林）



コンコルド相模大野店で就業する渡部さん、吉田さん、高尾さん【南ブロック】

コンコルド相模大野店は小田急線相模大野駅北口から徒歩３分の所に位置し、パチンコ４４０台、スロット２８８台を有し、駐車台数５４０台の駐車場が常設されています。そこで就業する渡部征男さん、高尾徹さん、吉田敏男さんを取材しました。

渡部さんの就業時間は、午前５時から８時までの実働３時間です。業務内容はお店の鍵開けから始まり、シャッターを開け、電源を入れ、トイレの確認、前日までのゴミの分別、外周および駐輪駐車場の清掃、駐車場発券機のチェックなどです。

渡部さんは仕事について「１１年目になりますが働くことが好きで、少しでも貢献できれば悔いることはない。働く環境はとても良いです。」と言っていました。

高尾さんと吉田さんの就業時間は、午前６時から８時までの実働２時間です。

高尾さんと吉田さんの業務内容は床の掃除機かけ、パチンコ・スロット台の拭き掃除、トイレ掃除、各台の空気清浄器のフィルター交換などを行います。

店内の仕事内容を１から１０項目に分け、月の前半と後半の仕事内容が変わるようにシフトが組まれているそうです。

「働く環境はとても良いです。辛いのは朝が早いことぐらいです。今では慣れました。」と言っていました。

ご協力いただき、ありがとうございました。

（松本）

左から、高尾さん、渡部さん、吉田さん

コロナ禍における事業受託状況

新型コロナウイルスの感染拡大は世界的に深刻な影響を及ぼし、国内においても消費の落ち込みなど経済の減速を招いています。当センターにおける事業受託状況についても影響を避けられず、８月末の契約額は前年度比８５．２％となっており、かつてない下げ幅となっています。その要因として、公共のスポーツ施設、公園、娯楽施設などの業務停止による就業一時停止や業務の縮小、また、民間企業からの受託についても就業の打ち切りや就業頻度の減少があげられます。センターの独自事業（自転車リサイクル・刃物研ぎ・パソコン教室・学習教室等）についても、事業を一時停止するとともに、再開後も頻度を少なくしているため大幅な契約額の減少となったものです。

契約額の減少を発注者別でみると、企業等が前年度比８１．９％と最も大きく、次いで家庭からが同９１．７％、公共が同９５．６％となっています。また、月別の契約額は次のとおりとなっています。（単位：千円）

	４月	５月	６月	７月	８月	計
前年度	87,763	95,158	105,484	110,053	99,061	497,519
当年度	72,713	72,395	93,030	94,943	90,942	424,024
前年比	82.9%	76.1%	88.2%	86.3%	91.8%	85.2%

４月から５月にかけての緊急事態宣言中は特に大幅な落ち込みとなり、解除後は少し盛り返していますが、前年度と比べ相当低い水準となっています。

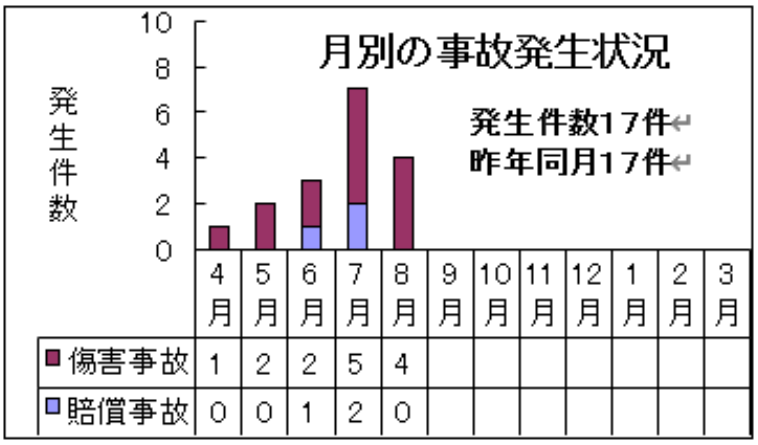
また、「相模シルバーそよ風サービス」（ワンコインサービス）の受託状況は８月末で２２８件と前年度よりも５３件少ない状況となっています。就業内容はゴミ出しが８割近くを占め、他には買い物や蛍光灯の取り換えの仕事を請けています。この事業は地域における助け合いの精神により、活力ある地域づくりに貢献することを目的としていますので、皆さんもご協力をお願いします。

安全管理委員会からのお知らせ

【就業会員の事故発生状況】

令和２年４月から８月までの事故発生状況は、全体で１７件(昨年同月１７件)、昨年同月と同数となっており依然として高止まりの状況となっております。内訳では、傷害事故が１４件（昨年度同月９件)、賠償事故は３件（昨年同月８件）の状況です。特に８月には、植木剪定作業で転落する重傷事故が発生しております。

植木就業会員は、三脚に登ったら不安定な体勢にならないように十分注意して下さい。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
傷害事故	1	2	2	5	4							
賠償事故	0	0	1	2	0							

一方、駐輪場管理業務の会員が、駐輪ラックを地面側の定位置に戻す操作をしていたところ、急に駐輪ラックが上昇して就業会員の唇に衝突し負傷するという事故が発生しております。駐輪場管理の会員は、駐輪ラックの操作に十分注意して下さい。

神奈川県シルバー人材センター安全就業標語受賞作品

令和元年度

神奈川県シルバー人材センター連合会
「安全就業標語」受賞作品を紹介します。

令和元年度に募集された県シルバー人材センター連合会主催「安全就業標語」につきまして、３４４件（うち相模原から２５件）の応募があり、次のとおり受賞作品が決定しましたので、お知らせします。

相模原市からは津久井地区の山﨑典夫会員の作品が佳作に選ばれました。

安全標語を読んで安全意識を高めましょう。

安全就業標語受賞作品

【最優秀賞】
「ひと手間を　かける意識が
事故防ぐ　準備・段取り・後始末」
横須賀市SC

【優秀賞】
「おごるな経験　頼るな自信
初心忘れず　安全作業」
横須賀市SC

「作業中　落ちるな！
落とすな！　わが身と道具」
横浜市SC

【佳作】
「身を守る　正しい手順を　まず確認」
相模原市SC　山﨑典夫会員

「急ぐとも心静かに指差呼称
あせらず　せかさず　安全作業」
茅ヶ崎市SC

「一歩先　見据えて防ごう
不測事故」
横浜市SC

「慣れた作業　危険はいつも
側（そば）にいる」
南足柄市SC

「マンネリを　減らして無くそう
事故の芽を」
横浜市SC

コロナ禍の健康管理に努めましょう！

新型コロナウイルスの感染の恐れから、外出自粛が続き、体を動かす機会が減ったことに、不安を感じていませんでしょうか。

そして家の中で過ごしていると、身体機能がどんどん低下していきます。不活発な生活が、心身機能を低下させる悪循環に陥ることになります。

では、次のことに心あたりはないでしょうか。

① 運動量が少ないため、食欲がない。
② 深い睡眠ができない。
③ 人との交流が減り、話さなくなった。
④ 体力がなくなった。すぐ息切れする。
⑤ 生活リズムが崩れて日付の感覚がない。
⑥ 近頃、物忘れが多い。言葉がでない。

このような状態が続くと、**フレイル**が進むと言われています。

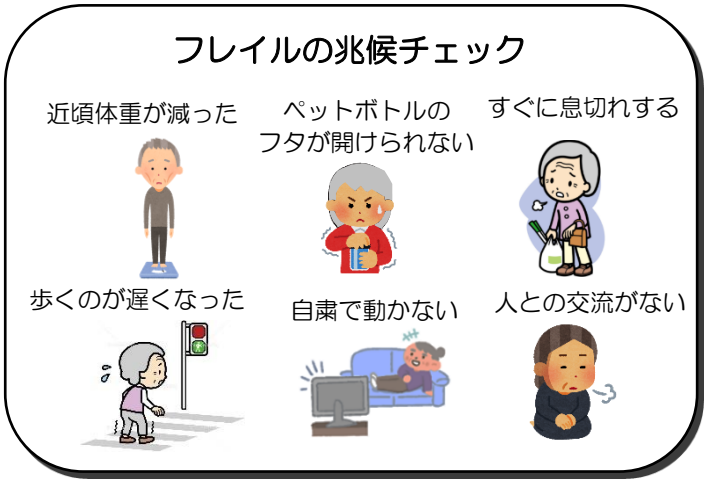
フレイルとは：年をとって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながり等）が低下した状態をいいます。日本語では「虚弱」を意味します。

ご自身の健康を守るためにも、運動や栄養、口腔機能の維持を心がけ、**まず、一人でもできることから、始めてみてはいかがでしょうか。**

① 人ごみを避けて、一人や限られた人数で散歩をする。
② 家の中や庭でできる運動をする。
（ラジオ体操やスクワットなど）
③ 家事や農作業などを行う。
（庭の手入れや部屋の掃除・調理など）
④ 足踏みをするなどし、座っている時間を減らす。

しばらくは、経験したことがない不自由で不安な日々が続きますが、コロナ終息後の楽しい日常が戻ることに願いを込めて、健康管理に努めましょう。

（山川）



リサイクル自転車販売事業終了について

センターの独自事業として昭和５６年から続いていたリサイクル自転車販売事業が今年の７月を持ちまして終了しました。リサイクル自転車は市内に放置された自転車を一定の期間保管し、引き取り手のないものを市から無償で譲り受け、会員が部品の交換や整備等を行い、市民の皆様に販売してきました。

近年、路上自転車駐車場の整備や、放置自転車解消の取り組みなど、市の放置自転車対策による放置自転車の減少とともに、当センターが譲り受ける台数が減少していました。

リサイクル自転車販売事業は、シルバー人材センターの前身である相模原市生きがい事業団が昭和５４年に設立された後まもなく、昭和５６年に開始され、その後４０年近くにわたり、数万台の自転車を整備し販売してきました。比較的安価で購入できるため、毎月第４金曜日の販売日には販売台数以上の購入希望の方が殺到する状況が続き、多くの市民の皆様に親しまれるとともに、センターの知名度の向上に寄与してきました。

これまでご協力いただいた相模原市、購入いただいた市民の皆様、この事業に携わりたくさんの自転車を整備した会員の皆様に深く感謝申し上げます。

＊近年の販売状況

年度	販売台数（台）	購入希望者（人）
平成２７	７１５	７５５
２８	６８３	９３４
２９	６１４	９７１
３０	５６６	９５５
令和元	４１５	９２６

めぐり会いの広場

～「しめ飾り」の販売について～

今年度もお正月用“しめ飾り”の販売を実施します。皆様ぜひいかがでしょうか。

販売数に限りがございますので、お早めにお申し込みをお願いします。

詳細は別刷りのチラシをご覧ください。

高さ約７０cm
大２，０００円

高さ約４０cm
小１，５００円

高さ約２０cm
＊お飾りなど若干異なる場合があります。
リース
１，０００円

講習会開催のお知らせ！

新型コロナウイルス感染症のため延期していた、接客接遇講習会・毛筆講習会・植木講習会・草刈機械操作講習会を開催します。詳細は別刷りの講習会案内チラシをご覧ください。

会員演芸会中止のお知らせ！

会員演芸会の出演や観覧を楽しみにしていた方も多くいらっしゃると思いますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりました。

読者投稿作品

川柳

後で読む　つもりの本が　又たまる
田名地区　畠山　義喜

忘れない　様にと書いた　メモ忘れ
二本松地区　見城　マサ子

訃報

当センターの理事長を務められた須藤忠雄氏が８月１日にご逝去されました。

須藤氏は平成22年４月から28年５月まで理事長を務めるとともに、平成25年から27年には全国シルバー人材センター事業協会の会長も務め、シルバー人材センターの発展に尽力されました。

また、小学校で自身の戦争体験を語るなどの活動もされていました。

生前を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

☎ 各事務所連絡先

＜事務局･中央事務所＞042(754)1177
＜南事務所＞042(745)2158
＜緑事務所＞042(783)1313
＜津久井連絡所＞042(780)1872
＜相模湖連絡所＞042(684)3126
＜藤野連絡所＞042(686)6505

編集後記

今年は、新型コロナにより、各種講習会・研修、そして地区懇談会等が中止または延期になってしまいました。

例年ですと、今月号は植木講習会、草刈機械操作講習会、接客講習会、毛筆筆耕講習会、さらに、各ブロックの楽しい旅行記、カラオケ発表会などが掲載される予定でした。

会員のみなさんの「いきいき」とした活動状況を発信できないことが残念です。

現在、新型コロナの感染が拡大している状況であり、参加者および関係者の健康・安全面を第一に考えての結果ですのでやむを得ないことと思います。

センターにとりましても、受注の減少など厳しい状況が続きます。

会員の皆様には、明るく、健やかにお過ごしいただきますようご自愛ください。

のちに、あの時は大変な時代だったと笑って話せる日がくることを願いながら、この難局を乗り切って参りましょう。

（山川）